

議会 だより



令和5年10月25日

いいだ市議会だより

IIDACITY-gikaidayori

No.235

編集/広報広聴委員会 発行/飯田市議会 〒395-8501 長野県飯田市大久保町2534

R80
古紙配合率80%紙

鈴岡城址の荒廃竹林整備(竜丘)



第3回定例会	2P
ズバリ市政を問う(一般質問)	4~6P
タウンミーティング・出前講座	7P
議員紹介	12P

令和5年

第3回 定例会

8月30日
～
9月25日
開催

定例会のあらまし

第3回定例会開会日に、執行機関側から報告案件2件、人事案件1件、「飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例の一部を改正する条例の制定について」など条例案件3件、「工事請負契約の締結について（かぐらの湯新規源泉掘削工事）」など一般案件6件、「令和5年度飯田市一般会計補正予算（第4号）案」など予算案件2件、「令和4年度飯田市一般会計歳入歳出決算認定について」など決算認定案件13件の計27件の議案の上程がありました。また、閉会日には、「令和5年度飯田市一般会計補正予算（第5号）」の議案が上程されました。

報告案件及び人事案件については、上程日の採決により確認・同意しました。その他の案件については常任委員会での審査を経て、最終日に全て原案のとおり可決または認定しました。

議案に対する質疑と審査

報告案件、人事案件以外の議案が総務、社会文教、産業建設、予算決算の各常任委員会に付託され、集中的に審査しました。

質疑等の内容は、8ページからの各常任委員会のページでその一部を紹介します。

請願及び陳情の審査結果

受理番号 【結果】	請願者又は陳情者	請願者又は陳情者の要旨	付託委員会
請願第3号 【採択】	飯田市大久保町 2534 番地 飯田市職員労働組合 執行委員長 倉地 浩史 氏	国に対し、地方公共団体の財政需要を的確に把握し、これに必要な地方交付税等の一般財源総額を確保すること等を求める意見書を提出願いたい。	総務委員会
陳情第5号 【継続審査】	飯田市鼎切石 4375 番地 吉川 秋利 氏	飯田市立病院の基本理念「私たちは、地域の皆さんの健康を支え、信頼される医療を実践します」に基づき、また基本方針にある「安全・安心で良好な医療を提供します」に従い、安全安心で信頼される病院の運営を願う。	社会文教委員会
陳情第6号 【不採択】	飯田市鼎名古熊 1456 番地5 近藤 健 氏 他1名	国に対し、「健康保険証」の廃止は行わず存続を求める意見書を提出願いたい。	社会文教委員会

各委員会での審査を受け、閉会日の本会議で審議した結果、請願第3号及び陳情第5号については委員会報告のとおり決定されました。陳情第6号については反対討論がありました。起立による採決の結果、委員会報告のとおり決定されました。採択の結果を経て、市議会は9月25日付けで国会等に対して下記のとおり意見書の提出を行いました。

国会等に対し、「地方財政の充実・強化をを求める意見書」を提出しました

【意見書の主旨】

※本文を一部省略

地方公共団体が担うべき役割は増大しており、これに必要な財政措置が課題となっている。

多様なニーズに対応し、行政サービスの質を確保するためには、政府が地方公共団体の行政需要を的確に把握し、これに必要な地方交付税等の一般財源総額を確保することが不可欠である。

地方公共団体には、物価高騰等により厳しい状況にある地域経済の回復や、デジタル化等の喫緊の課題を踏まえた財政運営が求められている。

よって、国において地方公共団体がその担うべき役割を確実に果たすため、地方財政全体の安定確保に向けて、次の事項について対策を講ずるよう強く要請する。

1 一般財源総額の確保に当たっては、物価高騰等への対応、デジタル化の推進、社会保障、人口減少対策、防災・減災、脱炭素化等の地方公共団体の財政需要を的確に把握し、反映させること。

2 地方交付税による財源調整機能及び財源調整機能の強化を図るとともに、特例的な措置である臨時財政対策債に頼らない自律的な地方財政の確立に引き続き取り組むこと。

3 地域間の税源偏在性を是正するための抜本的な解決策を協議すること。

4 持続可能な地域社会の維持・構築のため、まち・ひと・しごと創生事業費から改称された地方創生推進費を継続すること。

予算決算委員会

予算決算委員会、及び分科会における予算議案の審査の様子は、YouTubeで動画配信しています。



第3回定例会初日の8月30日に前期全体会を開催し、予算決算委員会へ付託のあった議案について分科会への分担を決定しました。その後、9月6日から11日にかけて各分科会を開催し、補正予算に係る予算議案2件、決算認定等13件の全15件を審査しました。

9月22日に開催した後期全体会では、各分科会の審査について座長報告を受けるとともに議案審査を行い、いずれも原案のとおり可決又は認定することに決定しました。

飯田市議会では、「決算議会」といわれる今定例会の委員会の議案審査を行政評価と連動させ、決算審査で個別事務事業の評価を実施しています。「議会による行政評価」の評価及び提言書の詳細は下段をご覧ください。

令和4年度飯田市各会計の決算を認定

令和4年度の決算において、一般会計、墓地事業特別会計、ケーブルテレビ放送事業特別会計の合計である普通会計は、歳入総額512億891万円、歳出総額503億8、110万円となり（会計間で移動した金額を控除した後の額）、令和5年度に繰り越す財源1億7、865万円を除いた実質収支は6億4、916万円の黒字となりました。

「いいだ未来デザイン2028」の中期計画最終年へ向けて「議会による行政評価」に関する提言書を市長に手渡しました

「議会による行政評価」は、飯田市自治基本条例に規定されている市議会の責務を果たし、執行機関の活動の監視と適正な行政運営の確保を目的に平成20年度から実施しています。

今年度の「議会による行政評価」は、「いいだ未来デザイン2028」の中期計画の中期審査にあたるため、評価対象とする基本目標を選定し、実施しました。

事務事業については、各常任委員会の所管事務調査に関わりの深い事務事業、基本目標や年度戦略の評価において課題があると思われる項目に関連する事務事業を選定し、決算審査とは別に評価を行いました。

これは、事務事業が予算決算に直結しており「議会の政策サイクルを回すという視点」、「方向性の妥当性など上から下へ俯瞰する視点」及び「目標達成への貢献度や効果など下から上へ仰視する視点」を重視したいとの考えに基づくためです。

評価にあたっては、総務・社会文教・産業建設の各常任委員会の構成員による予算決算委員会各分科会での専門的な評価を行い、予算決算委員会全体会で最終とりまとめを行い、市長へ提言書を提出しました。

今回の提言が、次年度の戦略計画の策定や新年度予算編成に生かされ、さらなる市民サービスの向上に努められることを期待しながら、議会として今後も執行機関の監視に取り組んでまいります。

提言書の詳細内容は、飯田市議会ホームページに掲載しております。QRコードもしくは、



検索
飯田市議会 行政評価



▲9月29日に、熊谷議長から佐藤市長に提言書を手渡しました。

○評価の対象とした32事業の評価結果（次年度以降に対する判断）の概要				
対象事業数	継続	改善予算への反映有	改善予算への反映無	抜本的な見直し
32	13	1	17	0

※事業No.317(介護予防・生活支援サービス事業)は、社会文教委員会の所管事務調査で調査継続中。

市長の目指す2050年に向けた 重点政策は何か



井 坪 隆 議員(会派みらい)

Q 一期3年間は、経営者として「これがしたい」という強い思いが感じられない。

A この地域の人口減少に歯止めをかけること、地域経済の強化により若者が住みたいまちをつくるのが最重要課題と考える。一旦この地域を離れた若者が帰ってこないという構造的な課題を解決すべく、就職や働き方の選択肢を増やすということが重要なポイントと考える。

■報道に見る市長の発言について

ズバリ 市政を問う

第3回定例会の一般質問の概要を紹介し
ます。(14名・質問順)

■は、そのほかの質問項目

一般質問の様子は
YouTubeで
動画配信しています



大学誘致について



筒 井 誠 逸 議員(新政いいだ)

Q 信州大学新学部など大学の誘致の市の考え方と今後の誘致活動の方向性は。

A 当地域が取り組んできた強みを生かすことができ、GX(グリーン・トランスフォーメーション)と信州大学との連携を一層強化し、新学部誘致に取り組んでいく。また、私立大学等の地方移転の意向調査を行う長野県から情報を得ながら、信州大学以外の大学等の誘致の可能性もあれば活動していく。

■小・中学校の給食費について

飯田市立病院の 医療対応について



小 平 彰 議員(新政いいだ)

Q 市民から頼られる病院として、日本医療機能評価機構が実施した病院機能評価をどう捉えているか。

A 82項目でSないしA評価であったが、6項目が改善の余地ありとするB評価となった。そのうちの「診療の質の向上に向けた活動」については、症例検討会を多職種が参加して定期的に行い、医療の質の向上に取り組んでいる。「新たな診療・治療方法や技術の導入」については、導入する際の審査等の流れを明確にするなど対応を行っている。

人との関わりが老化を防ぐ、 社会的フレイル予防



木 下 徳 康 議員(新政いいだ)

Q 社会的フレイルを予防・克服することは地域コミュニティの醸成にとっても重要と考えるがどうか。

A 人との交流、また関わりなどを通じて、社会的フレイルを予防し、改善することができてくれば、地域社会に参画する人が増え、結果として地域コミュニティがさらに活気を持つようになる、と考える。



放課後の児童の居場所づくりを どう進めるか



宮 脇 邦 彦 議員(公明党)

Q 放課後児童クラブ等の役割が高まる中、インクルーシブな在り方を高学年児童の力を借りて進めては。

A これまで施設の広さや職員体制が整わず、4年生以上の児童の受入れが十分と言えなかったが、ここ2年程の間で、環境が整った施設から徐々に受入れを進めている。発達特性のある児童の利用希望は増加しており、施設面の備えや職員の配置が課題としてある。今後、職員研修の内容も含め、高学年の児童の居場所への課題を研究していきたい。

農産物のブランド化による 地域へのメリットは

橋 爪 重 人 議員 (新政いいだ)



A 地域特性を生かしたブランド品があることは、地域自体の魅力の向上につながり、これを生かした観光等関係人口の増加も期待できる。地域への愛着や誇りを持つことにもつながる。地域への愛着があれば、Uターンのきっかけや、地域を離れて暮らしていても地域の農産物を通して、地域の関わりを持ち続けてもらうこともできると考える。

Q 関係機関との連携により農産物のブランド化は地域活性化につながると思うがどうか。

環境文化都市としての 飯田市の取り組みについて

市 瀬 芳 明 議員 (日本共産党)



A 市民の環境への取り組みが、まちの文化と言えるぐらいに取り組んでいけば、これに共感して、飯田へ帰って来たり、移住したいと思う人が出てくるものと思う。環境文化都市の取り組みをしっかりとやっていくことが、まちづくりにおけるGX(グリーントランスフォーメーション)の位置づけと考えている。

Q 環境文化都市飯田の目指す姿において、これからのまちづくりにはGXをどう生かしていくか。

災害に耐えうる強靱な 主要道路整備について

西 森 六 三 議員 (会派きぼう)



A 国道152号未改良区間は、飯田市と大鹿村とで連携し県へ要望活動を進める。今年度から長野県総合5か年計画「しあわせ信州創造プラン3.0」にて産業・観光及び交通拠点へのアクセス向上のための調査の実施を検討する箇所と位置付けられた。市道上村4号は、蛇洞沢上部の山腹崩壊が甚大であり、現時点の復旧方法や時期を示せない状況。

Q 国道152号未改良区間(上村程野大鹿村間)と市道上村4号の改良の現状と考へは。

飯田市の空家等対策の 考え方について

福 澤 克 憲 議員 (会派きぼう)



A 危険な空き家については、大型施設など規模が大きすぎて地方公共団体では手に負えない部分は、引き続き国へ要望していく。空き家の利活用には所有者の理解が必要であるが、件数が伸びない状況であり、市としても所有者の理解が得られる対策を考えていく。今後も国と地方の両方の取り組みが必要であり、市としてもしっかりと取り組んでいく。

Q 今回空き家対策特別措置法が改正されても、大型施設等の対応など地方独自の課題は残る、市の考えは。

飯田市の子育て環境の 充実について

佐 々 木 博 子 議員 (会派みらい)



A 市では子育て世代の親子が一緒に楽しめる屋内施設として「つどいの広場」を市内12ヶ所に用意してきたが、基本的に保育園へ通っていない親子を対象として整備してきたため、親の休日や園児や低学年の子どもを連れて親子で遊びに行く施設という想定ではなかった。今後は市民の声をふまえて、子育ての喜びを実感できるような場づくりの整備を関係機関等と研究していきたい。

Q 雨の日に子どもが遊べる施設の充実をどう考えるか。

生成AIについて市内では どのように扱っているか

岡 田 倫 英 議員 (会派きぼう)



A 市役所では、会議の音声データをから自動的に文字起こしをするシステムを利用しているが、入力した内容がAI学習に利用されないシステムを7月から試行的に利用している。利用の際は、飯田市情報セキュリティポリシーに基づき、個人情報や機密性の高い情報は取り扱えないこと、個人所有のパソコン等を業務利用することを原則禁止している。

Q 活用の研究だけでなく、個人情報など市民の権利を守ることを打ち出すことが重要と考えるがどうか。

飯田市教育委員会施設等 総合管理計画について

清水 勇 議員(会派きぼう)



A 現状で最も改修が急がれる施設であると認識している。現在、教育委員会事務局内で検討を進めており、今年度中には整備の方向性を固める見通しである。現場のニーズ、時代の変化に対応しながら、飯田市教育委員会施設等総合管理計画を基本にしつつも、必要な設備、喫緊の課題等については出来る限り検討し、必要な施設整備を進める。

Q 丸山共同調理場は老朽化が進み、調理場も狭く施設として労働条件にも問題がある。早急に改修する考えは。

「香害(香りの害)」と 化学物質過敏症について

関島百合 議員(会派みらい)



A 学校では「香りの害」として啓発に取り組んでいる。文部科学省からは、「化学物質過敏症」の児童生徒向けの教科書配布に関する通知が出ている。市民の皆さんには、柔軟剤などの「香り」が健康を害する可能性があることを理解してもらうことが重要。市の公式ウェブサイトでさっそく情報発信を行ったところ。■ひきこもりと不登校、医療的ケア児等について

Q 化学物質でできた柔軟剤の香りが原因の「香害」に関する実態把握は。



これからのいいだ未来デザイン2028 とGXについて

小林真一 議員(公明党)



A いいだ未来デザインの後期計画の策定に来年度取り組んでいくことになるが、これまでの計画には、GX(グリーン・トランスフォーメーション)という概念は横串というよりは溶け込んでいる状態だった。後期計画の策定にあたっては、取り組みやすさの視点から、GXの考え方を柱のひとつとして組み立てていくことを考えていく。

Q GXを今後の重要な取り組みと捉えるが、いいだ未来デザイン2028の後期計画に反映させる考えは。

議会報告・意見交換会

令和5年度議会報告・意見交換会を10月3日から13日にかけて全7日間、11会場で開催しました。本年度はコロナ禍以前の通常開催を心がけつつ、共催である各地区まちづくり委員会の意向を踏まえ、一日1会場の場合と2会場の場合を設ける変則方式を取り入れました。

全体会では議会から執行機関に対する政策提案の状況を報告。分科会では「持続可能な地



域にしていくために」「高齢者が(あなたが高齢者になっても)安心して暮らしていくには」「地域内経済の循環」の3つのテーマで意見交換をしました。また、各地区の地域課題についても協議しました。

若者の政治への関心に期待

飯田市議会が平成21年度から毎年実施している「議会報告・意見交換会」において、参加者から、議会に自分たちの声を届けることのできる「新たな広聴の機会」を望む声があることが明らかになり、昨年度から『タウンミーティング』を開催しています。

また、議会に対する理解や関心を深めていただくことを目的に、要請があれば議員が市内に出向き、説明や意見交換などをする『出前講座』を平成29年度から設けて実施しています。

ここでは、7月から8月にかけて開催した、高校生とのタウンミーティングと山本小学校での出前講座をご紹介します。

高校生とのタウンミーティング

高校生とのタウンミーティングを7月14日にムトスぶらぎで開催しました。「飯田市の自慢したいこと、自慢できないこと」のテーマを設け、地域課題の解決策を語り合いました。

自慢したいことには「地域の人が優しい」「治安が良い」「自然と街のバランスがちょうど良い」など。

自慢できないことは「公共交通の便がもっと良くなってほしい」「若者が集まれる場所、楽しめる場所が少ない」「四年制大学がない」「昔からの決まりごとにと縛られすぎている気がする」などが出されました。

飯田市出身の大学院生が「一旦県外へ出ることで、故郷の見え方が変わってくる」と助言する場面もありました。

議会によるタウンミーティングは昨年度の飯田高校に続いて2回目。今回は複数の高校から25人の参加がありました。生徒から出された意見は議会の調査研究活動に活かしてまいります。



山本小学校で出前講座

山本小学校6年生への出前講座を8月28日に行いました。

児童からは社会科の授業で公共施設の使われ方を学んできたとの説明があり、税金の使われ方に対する議会の役割に関心を持ってきたとの発表がありました。

続いてグループに分かれ、「飯田市では一年間にどれくらいの税金を集めているか」「山本小学校を作るのに税金はどれくらい使われたか」「市役所の仕事量はどれくらいあるか」「議員のやりがい」など、児童からはさまざまな質問が出され、議員と意見交換しました。



山本小学校6年生は地方議会と国会の違いを学ぼうと、出前講座を計画したとのこと。市議会では児童に議会を身近に感じてもらうとともに、地域づくりと一緒に考える主権者教育に位置付けて出前講座を実施しました。

出前講座は、おおむね10人以上で構成する団体、グループを対象に申し込みを受け付けています。小中学校に限らず、議会に関心のある皆さまのご要望をお待ちしています。

総務委員会

8月30日と9月6日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

飯田市空家等の適正な管理及び活用に関する条例の一部を改正する条例の制定について
(議案第70号)

Q 「現行の「準特定空家等」の分類が、そのまま改正後の条例の「管理不全空家等」に移行すると捉えてよいか。

A 現在、国が作成中の管理不全空家等の指針に従い、準特定空家等のいずれを管理不全空家等にするかを研究してまいりたい。

Q 「準特定空家等が管理不全空家等に移行することについての市民への周知の方法は。」

A 活用可能な空家は活用し、危険な空家は予防することを広報でも働きかけており、制度が変われば様々な手段で広報を行いたい。

Q 空家等対策の推進に関する特別措置法の一部改正により、飯田市の特定空家を減らすことに着手できるか。

A 個人が所有する特定空家については粘り強く指導、助言を行い、危険な空家を除却していただけるよう努めてまいりたい。



《予算決算委員会 総務分科会》
議案第81号 令和4年度一般会計歳入歳出
決算認定について

広報広聴事業（2款 総務費）

Q 各課が制作した市政情報デジタルコンテンツのうち、特徴的なものは。

A 南信州獅子舞フェスティバル、市営駐車場の2時間無料化、タレントやモデル契約に関するトラブルに関し注意喚起を促す情報、結婚新生活支援事業などは再生回数が多く、特徴的なものである。

遠山郷振興事業（2款 総務費）

Q 遠山郷への過疎地域定住促進補助金816万円が地域にどう寄与しているか、因果関係をつかむことが補助金を有効に使うことにつながると思うが、どう評価しているか。

A 定住に向けた様々な施策があるが、補助金による効果を考えながら事業を進めたい。

大学設置活動推進事業（2款 総務費）

Q 「不易流行（ふえきりゆうこう）」という言葉のように、GXの概念も変化していくことが想定されるが、大学設置活動をどう考えるか。また専門職大学を選択肢の一つと考えているか。

A 当地に四年制大学が必要であるということとは今後も変わらない。様々な分野の可能性があり、地域の強みや特徴を生かしつつ大学が目指す方向性を見据えながら四年生大学の設置を目指していきたい。専門職大学の設置についても可能性としてはあり得る。

所管事務調査としての管外視察を実施（7月3日～5日）



▲高知県黒潮町にて



所管事務調査
報告書はこちら



▲香川県三豊市にて

総務委員会は、所管する事務から「災害」「脱炭素」「人口減少対策」「ランドスケープ」および「環境」に関して5カ所を選定し、先進事例を学ぶことを目的に実施しました。今回の視察をふまえて引き続き調査研究を進め、「住み続けたい」「住んでよかった」と思える飯田を目指した政策提言につなげてまいります。

- 〔高知県須崎市〕地域の再エネを活用した災害時のレジリエンス強化及び農作物栽培の持続性確保
- 〔高知県黒潮町〕「戸別津波避難カルテ」と「脱炭素カルテ」の作成による、防災体制強化と省エネ・再エネ設備の導入促進
- 〔愛媛県四国中央市〕「若者が帰りたくなる四国中央市を創る」をテーマとした人口減少対策の取り組み
- 〔香川県高松市〕ランドスケープを生かした地域交流施設
- 〔香川県三豊市〕燃やすごみをリサイクルする「バイオマス資源化センターみとよ」

社会文教委員会

8月30日、
9月7・8日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

《予算決算委員会 社会文教分科会》
議案第81号 令和4年度一般会計歳入歳出
決算認定について

「多様な学習交流支援事業」
「高校生等次世代育成事業」
(10款 教育費)

Q 令和4年度にムトスぷらざを開設し、事業に取り組み、成果が表れる最初の決算になる。学習から実践につなげる、新たな実践の場との位置づけであるが、その拠点性が十分発揮できたか。成果の捉えは。

A 高校生講座は、ムトスぷらざを拠点として活動することで、これからの担う核となる高校生を育成することを目的としている。その高校生が、ムトスぷらざに集う高校生とつながること、学習活動の広がりにつなげていきたい。高校生の考えや想いの検証はまだできていない部分である。今後取り組んでいきたい。



▲高校生講座
カンボジアスタディツアー事前学習の様子

議案第84号 令和4年度飯田市介護保険特別会計歳入歳出決算認定について

Q 4年度決算は、5億7千万円余りの黒字となっている。当該年度は、介護保険事業計画2年目で、収支が均衡する想定となるはずであるが、黒字の理由をどう捉えているか。

A 新型コロナウイルスの影響が大きかった。利用者側は利用控え、事業者側はサービスの休止があった。通所系サービスに利用控えが発生し減少する一方で、訪問系のサービス利用は増えており、通所系が減った一部が訪問系に流れるといった相関係があった。施設系サービスは、一時的な新規受け入れの停止、空床期間の長期化が稼働率の低下を招いた。全般の影響は推測できるが、支出の減額の影響を数字で把握することは難しい。

Q 生活実態が様々に変化の中で、施設サービスへの市民ニーズは高い。第9期介護保険事業計画策定に向けてどのように考えるか。

A 広域連合が入所調整を行ういわゆる特養の待機者は、増加傾向があり、現状で施設整備を想定しないことは無理があると考える。半面、将来を見据えた施設整備が必要である。要望に応じて整備を進めると、保険料は上昇し、そこに準備基金を投入しても、なお保険料の上昇につながる。保険料の想定や、準備基金からの投入額、さらにはサービスの量をどのように見込むかを検討する。

所管事務調査としての管外視察を実施 (7月10日～12日)



▲芦屋市議会議場にて



所管事務調査
報告書はこちら



▲パレットにて

現代の構造的な課題である「少子高齢化の社会」において、課題が顕在化している子育て支援や包括的な支援体制の構築に向け、参考となる先進的な実践事例を視察し、見識を深めるとともに、今後の市政の方向性を探ることを目的に実施しました。

〔愛媛県 四国中央市〕

子ども若者発達支援センター「Palette (パレット)」の
取り組みについて

〔岡山県 勝田郡 奈義町〕

子育て支援の取り組みについて

〔兵庫県 芦屋市〕

重層的支援体制構築の取り組みについて

産業建設委員会

9月8日、11日及び
20日に
委員会等を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください。

かぐらの湯の源泉ポンプ落下事故から、約3年半が経過し、今定例会において「新規源泉掘削工事」の請負契約が議案として上程されました。また、「道の駅再整備計画」の基本設計の報告を受け、今年度から具体的な実施設計に入るための予算が上程されました。それぞれに、慎重な審査の結果、いずれも原案のとおり可決しました。以下、質疑の一部を紹介します。

工事請負契約の締結について（かぐらの湯新規源泉掘削工事（議案第74号））

Q 契約額2億2千万円の内訳の中にポンプの落下防止対策費用も含まれているか。

A 掘削工事を契約する業者は、保証会社と保証契約を締結している。工事中に起こった事故等については保証金が支払われるとともに、損害賠償保険にも加入していることを確認している。



遠山郷 かぐらの湯 外観

《予算決算委員会 産業建設分科会》 議案第79号 「一般会計補正予算（第4号案）」

Q 道の駅の整備目的は。

A 信州の南の玄関口として、お客様を受け入れる役割を果たしていく。さらに、既存施設を有効活用しながら、これまで非常に好評だった塩の温泉を復活させるとともに、地元食材を生かした食堂や物販の運営を充実させていくことで地域振興にもつなげていく。

Q 実施設計と指定管理の選任に関わる大きなスケジュールの見込みは。

A 実施設計は、令和5年11月から令和6年2月末を予定している。また、指定管理者の選任は、令和6年第4回定例会で議案の提出を予定している。

Q 今回は基本設計の段階での議論となるが、現状示されている再整備計画からは遠山郷をどうしていきたいかというコンセプトがみえてこない。今後、具体的に実施設計が進んでいく中で、全体の事業費や温泉の浴槽の面積等を議論することでよりよいものをつくっていききたい。実施設計を決定する過程を議会に示していただけるか。

A 議会からいただいた意見はしっかり受け止めており、実施設計を進めていく中で青崩峠トンネルの開通効果も含め改めて精査していく。これで決定したという報告ではなく、議会の意見も聴かせてもらいながら、一緒にいいものをつくっていききたい。

所管事務調査としての管外視察を実施（7月6日～7日）



▲三重県桑名市にて



所管事務調査
報告書はこちら



▲VISONにて

当委員会が所管する産業振興を基本とし、環境文化都市を掲げる飯田市として地域資源の活用を視野に入れながら「地域内経済の循環」をテーマに、その先進事例を学ぶことを目的に実施しました。

〔岐阜県 飛騨市〕

地域通貨「さるぼほコイン」の取り組みについて

〔三重県 桑名市〕

竹資源を活用した地域内循環の取り組みについて

〔三重県 多気町〕

デジタル田園都市国家構想「三重広域連携モデル」について

〔複合型滞在施設「VISON」〕

施設を起点とした観光連携の取り組みについて

リニア推進 特別委員会

9月13日に
委員会を開催



委員会の様子は
YouTubeを
ご覧ください

リニア関連事業に関する北条地区説明会
について

7月26日にJ.R東海、長野県、飯田市の3者が北条地区で行った説明会の報告がありました。主な内容は次のとおりです。

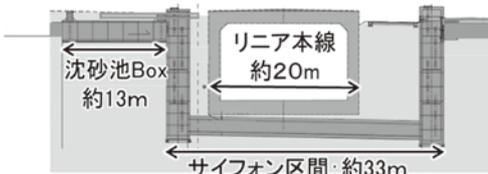
■市道上郷5号線の整備について

今年3月に、地権者、沿道関係者の全員から変更計画について同意をいただいた。変更計画の概要は、現在の市道上郷5号線は、市道として残す。改良後は、新たな市道は「車」、現在の市道上郷5号線は「人」というように、自動車と歩行者の利用を使い分け、歩行者の安全確保を図る。

■竜西一貫水路の付け替え 工事について

リニア本線と水路が平面交差するため、リニア本線の下をくぐるような構造にする。

現在、関係機関と維持管理の方法や工事中の対応等を協議しており、協議・準備が整い次第、説明会を開催して工事に着手する。



竜西一貫水路の付け替え断面

■長野県駅(仮称)工区の先行着手工事について
現在、埋蔵文化財調査を実施しながら工事施工ヤードの造成を進めている。準備ができ次第、土曾川橋りょう東側の橋脚の基礎工事を進めていく。

■飯田市が進めるリニア駅前広場について

今年度の第4四半期以降に住宅基礎撤去などの工事に着手する予定である。

Q 国道153号での掘削土の運搬について、以前行われた説明会では、動線が長いことによる交通渋滞の影響を懸念する声があった。今回、リニア駅周辺における10月から12月までのダンプ運行予定台数が示されたが、交通に影響なく運搬できるか。

A 10月以降は、飯田市関係の工事の完了に伴い、国道153号のダンプ運行台数は100台ほど減少する。今後また工事が始まるとダンプ運行台数の変更が考えられる。あまりにも台数が増えるようならば、しっかりと調整をして、運行台数の低減ができるような対策を行っていく。

「信州大学・飯田市共同研究 第1回研究会」について報告を受けました

信州大学と飯田市で行う共同研究の目的について、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通を契機として伊那谷の現在、過去、未来にもつながるような、本質的な価値は何かということを専門的な知見から検証する。深い部

分でこの地域の特質を捉え、シビックプライド(自身に関わる地域を誇りに思い、地域を良くしていこうとする気持ち)やインナーブランディング(住民が共感できる理念や価値を共有すること)にもつながるような価値を明らかにするとの説明がありました。

また、研究の全体テーマとして、「飯田下伊那地域の文化における本質的価値は何か」という点について民俗芸能の視点から考えていく。研究成果は、リニア中央新幹線や三遠南信自動車道の開通後を見据えて、海外にも発信できるような映像の制作によって可視化し、この地域の交流人口、関係人口の拡大やインバウンド需要の創出につなげていきたいとの説明がありました。

8月21日に開催された第1回目の研究会では、趣旨説明や基調講演、意見交換会が行われ、「飢さん等の困難に直面するような厳しい環境にある地域では、何とかしたいという願いがさまざまな文化を生んできた側面がある。そうしたルーツをたどることも大切であるが、魅力発信という観点では、それらの歴史が、今にどう反映されているのかということも検討する必要がある」などの意見があったとの説明がありました。



講師や専門家を交えた意見交換会の様子

議員紹介

議員の人となりなどを議員自らが紹介します。(議席順に掲載)



～高校野球大好き人間～

やま ざき まさ のぶ
山崎昌伸

今年の高校野球夏の甲子園は、1世紀以上の時を超えて慶応高校が2度目の優勝を果たしましたが、“丸刈り”でない選手達の笑顔がとても爽やかに感じられました。今や、丸刈りと決めている高校は3割にも満たないとのことで、これも時代の変化なのでしょう。変化と言えば、最近の高校野球では相手の選手に対する気遣いの場面が増えています。例えば、打者が捕手のマスクを拾って手渡す、ランナーコーチが患部にコールドスプレーをかけに行く、ベンチからドリンクを持っていくなどで、これらは総て相手の選手に対してとられた行動です。慶応高校の森林監督は「成長こそが高校野球の価値だ」と語っています。相手に敬意を払うことが自身の成長に繋がる、私はこのような高校野球が大好きです。



～激変生活～

くま がい やす と
熊谷泰人

2年前から長男家族との同居生活が始まりました。それまで夫婦水入らずの気楽な生活を送っていましたが、一挙に長男夫婦、孫3人(6歳女、4歳女、1歳男)の7人家族と、激変生活となりました。朝は孫の食事からお着替え、保育園送り、夕方は保育園へお迎え、食事から入浴と、長男夫婦が共稼ぎのこともあり、老夫婦は週4日間てんてこ舞いの生活を送っています。可愛い孫との生活は嬉しくもありうっとうしくもあり、複雑なところですが、何はともあれ核家族化が進む中、同居生活に踏み切ってくれた長男夫婦には感謝の気持ちです。

将来、孫達がこの地域に残ってくれることを祈りつつ、日々過ごしていきたいと思います。

議会の動き(予定)

■第4回定例会 11月24日(金)～12月20日(水)

◇代表質問・一般質問(傍聴可能)

12月6日(水)～8日(金)

◇委員会日程(傍聴可能)

予算決算委員会前期全体会	11月24日(金)
総務委員会	12月11日(月)
社会文教委員会	12月12日(火)
産業建設委員会	12月13日(水)
リニア推進特別委員会	12月14日(木)
予算決算委員会後期全体会	12月19日(火)

■議会への請願・陳情は、議会事務局へ

11月10日(金)午後5時までに提出ください。

議会傍聴に際してのお願い

議場や委員会室に入る場合は、帽子、外とう、襟巻を着用し、又はつえ、傘の類は携帯してはならないことになっています。(病気その他の理由により議長の許可を得たときは例外となりますので議会事務局職員にお申し出ください。)

ご理解とご協力をお願いいたします。

広報広聴委員会

委員長/岡田倫英 副委員長/山崎昌伸
委員/小平彰 橋爪重人 西森六三
宮脇邦彦 関島百合 市瀬芳明

表紙
紹介

がんばっとるに!! 竜丘

竜丘地区ではこれまで、放置竹林対策と地域の景観保全を目的として「天竜川^{かみゆき}流峡復活プロジェクト」を実施してきました。このプロジェクトには地域の子ども達も作業に参加し、整備した結果、不法投棄も大幅に減り、流峡は本来の美しさを取り戻してきました。それをきっかけに放置竹林に対する意識も高まり、住民と行政、そして最近では市外から大学生ボランティアが多数来訪し、協働で竹林整備作業を行い、地域との交流を深めています。

放置竹林の整備を「竹林整備(単なる苦役)」から「竹林整備(楽しみ・生きがい)」へのイメージ転換を図ることにより、放置竹林を少しでも減らして行きたいと思います。



大学生ボランティアによるメンマづくり